



### 新年度を迎えて

コミュニティ振興協議会

会長 江尻 東磨

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は地震、想定外の津波、福島原発の放射能拡散と災難続きの年でした。被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、このたび別記のとおり、若干の人事異動をさせて頂きました。

神林センター長が退職され、その後任を真貝順一様をお願い致しました。ご本人のご人格、ご識見、ご活躍をもってすれば、ご期待いただける方でございます。

つきましては、私たち残任期間は、はなはだ微力ではございますが、安全安心で住みやすい地域づくり、にいつそう精励努力いたす所存でございます。

皆さまのご厚情に心からお礼を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

北条地区  
コミュニティ  
振興協議会  
TEL25-3355

北条ネット  
kitajo.net

きむらしゅん

### 就任のご挨拶

北条地区総代連絡協議会

会長 池田 俊明

このたび、北条地区の総代連絡協議会会長を仰せつかりました。もとより、浅学非才の身を省みず、その任にあらずの事を承知の上でお引き受けいたしました。皆さまの強力なご支援のもとで、務めさせていただきますのでよろしくお願いたします。

北条地区は、近年にない難題が山積する年になりました。地域の力で乗り切り、それに応えなければなりません。安心して暮らせる生活環境づくりが基本と考えております。各町内会のいろいろな取り組みに呼応し、達成しなければなりません。ややもすると、自分ばかりが識者だと、その主義主張を正論だと豪語する人も多い昨今です。地域全体を考え、弱い者いじめはいけません。時代錯誤の過ちを起してはなりません。今後一層のご指導、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

### コミュニティの センター長交代 よろしくお願いたします



新センター長  
真貝 順一

長鳥川流域に住む北条の地域社会が大きく変化し、少子・高齢化など社会情勢の変化に伴って、高齢者や子育て家族に対する支援等、さまざまな課題が発生しております。自己責任の原則のもと、北条地域に住んでよかったですと思われるよう、微力ですが頑張っています。よろしくお願いたします。

お世話になりました

前センター長 神林 良定

退職にあたり、一言お礼を申し上げます。

この度、四月末日をもって、センター長を退職いたしました。在職中は、大変大きな協力とご指導をいただきながら、二年十ヶ月を務めさせていただきました。

私も高齢にて体力の限界、または自分なりの下手な横好きなど、今回の退職の運びとなりました。

後任者には、センター長にふさわしい素晴らしい方がおいでくださるので、とても心強く思います。

私もこの地の者ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

### 「米山検校の評伝」を出版

このたび、米山検校(けんぎょう)の事績などをまとめた書籍「評伝 銀のつえ 米山検校をさがして」が出版されました。

著者は検校の遠い子孫にあたる埼玉県在住の徳間佳信さんです。

早速、徳間先生に中学生・小学生(高学年)・保護者・地域住民を対象にした講演をお願いしたところ、ご快諾いただくことができました。日程は、6月24日(日)北条中学校での講演会を予定しております。(詳細は後日ご案内)

本は書店でも在庫がなくなるほど高評で現在増刷中とのことです。コミュニティでも注文を取りまとめておりますので希望者はコミュニティまでご連絡ください。

TEL 25-3355



## — 平成 23 年度事業経過報告 —

## 1 運営経過報告

平成 23 年度は東日本大震災を受け、災害に強い地域づくり、安心して暮らせる地域づくりを推進するため下記事業に取り組みました。

## (1) 交流施設の整備 (市活動推進事業)

避難所としても使えるグリーンツーリズムの交流拠点を模索していたところ、旧広田地内に下水道が整備されている空き家があり、家主より除草・除雪の管理と光熱水費の基本料金を超えた額を負担すればよいという好条件でお借りすることができました。

改修は、限られた予算の中で行うため、自分たちにはできることは自分たちの手でという意気込みでスタートした。延べ 80 人を超えるボランティアの尊い汗のお陰で、23 年度計画分は 11 月中旬に完成、下旬には藤沢市六会地区の皆さんが完成祝いに駆けつけてくださいました。

館の名称は公募の結果、「小さな家」や「心のふるさと」の意味を持つ『さらい』に決定、ぬくもりある手作り看板も設置しました。次年度は外構部分を整備してまいります。

## (2) 防災グリーンツーリズムの促進 (市活動推進事業)

平時の地域間交流と災害時の広域相互援助ネットワークづくりを組み合わせた「防災グリーンツーリズム」の実証実験がきっかけで始まった藤沢市六会地区との交流は 3 年目を迎えました。東日本大震災を受け、いかに平時の交流の大切さを学んだ私たちは 6 月と 11 月に相互訪問し、一層の絆を育みました。

## (3) 地域間交流調印式

藤沢市六会地区とこれまで重ねてきた交流が、役職員の異動や退職等によって記憶が薄れていかなないように覚書を交わすことになり、2 月 5 日の「スノーフェスタ in 北条」に六会地区の役員を迎え、地域住民立会いの下、調印式を行いました。

## (4) 表示板設置

福島第 1 原子力発電所の事故を教訓に、東京電力柏崎刈羽原子力発電所からの距離と標高を示す表示板を全町内の集落センターと学校、コミュニティセンターに設置し、住民の防災意識の向上に努めました。

## (5) 地域防災会の強化

地域防災会の本部開設時における現地の被害確認や記録、情報伝達などを担当する役員の不足が必須課題であり、地域防災会の更なる強化のため、全町内会 (自主防災会) から本部役員を 1 名ずつ推薦していただきました。

## (6) 住民起業室

- ① 暖暖については、東日本大震災で福島から田尻コミセンに避難してきた被災者に、3 月 25 日から 4 月 20 日までの約 1 カ月、延べにして 2,200 食の炊き出しを毎日届けました。野菜と魚と手づくりをモットーに心を込めて作った弁当は「美味しい」と評判になり、スタッフの苦労は報われました。何よりの収穫はスタッフの自信に繋がったことです。これを機に安定した経営が望まれたのですが、人材不足という大きな課題は解決できず今日に至っています。
- ② 「つららなす」については共同ほ場を小島地内に移し、会員農家合わせて 700 本を栽培しました。販路を首都圏だけでなく県内や市内に求めた結果、ウオロク柏崎店との取り引きが実現しましたが、B 品、C 品が多く、供給が間に合わない事態が発生しました。課題は品質の高いなすの生産と B 品・C 品の加工品の開発です。

## (7) 北条ネットを活かした中学校生徒会活動の支援について

北条中学校では開かれた学校を保護者や地域を対象に発信するため、「総合学習」と「情報教育」の時間を活用して、コミュニティのポータルサイト内に北条中学校生徒会活動のホームページを立ち上げました。生徒が平常時の地域活動に参加し、また、地域人材が学校行事に協力する関係が強化され、学校・生徒と地域コミュニティとの“絆”が災害時の協働性に寄与することが究極のねらいになります。

## 2 活動報告

## (1) 会議等実施報告

- ① コミュニティ委員会 (総会) 4/21 (40 人出席)
- ② 常任委員会 (6 回) 8/19、9/26、12/21、1/10、1/20、4/10
- ③ その他 会計監査 4/18  
三役会議 12/16、3/12、3/21、3/26  
体協・コミ合同会議 4/25  
体育祭チーム代表者会議 5/12  
スノーフェスタ実行委員会 12/21、1/10、1/24  
北条地域防災会 12/26、3/4  
北中・防災科研・コミの合同会議 5/26、7/20、8/5、10/21

## (2) 専門事業推進室会議

- ① 教育振興室 (5 回) 5/4、6/17、6/30、7/28、9/1
- ② ふれあい推進室 (6 回) 5/12、6/8、6/11、7/11、8/30、9/20
- ③ 安全対策室 (9 回) 5/19、5/26、6/23、7/8、10/11、10/30、11/12、2/16、3/15
- ④ 山なみ編集室 (8 回) 5/2、6/3、7/5、8/9、9/7、10/4、11/4、12/8、
- ⑤ 暖暖会議 (5 回) 4/19、5/24、12/13、12/26 3/26
- ⑥ つららなすの会 (2 回) 1/18、2/27

平成23年度

北条地区コミュニティ振興協議会決算書

1 歳 入

(単位:円)

費 目	予算額	決算額	増減	摘 要
1 会費	3,675,600	3,672,000	△ 3,600	年会費3,600円×1020戸(1戸減)
2 管理運営事業補助金	4,161,000	4,162,000	1,000	センター長報酬、主事給与、共済費
3 管理補助金	258,000	258,000	0	警備・清掃補助21,500円(月)
4 事業補助金	650,000	650,000	0	市コミュニティ活動推進事業補助金
5 使用料	230,000	327,500	97,500	ソロバン・習字、総代会、選挙会場、北条ネット他
6 雑収入	50,000	71,631	21,631	印刷収入、視察資料、預金利子
7 特別会計繰入金	300,000	600,000	300,000	財源不足
8 前期繰越金	83,802	83,802	0	
合計	9,408,402	9,824,933	416,531	

2 歳 出

(単位:円)

費 目	予算額	決算額	増減	摘 要
1 管理費	7,701,000	7,732,524	31,524	
1 報酬	1,024,000	1,024,000	0	センター長・会長、副会長2名(年)
2 給与	3,252,000	3,252,000	0	主事2名
3 共済費	495,000	505,084	10,084	社会保険、労災保険、退職金掛金ほか
4 委託料	425,000	413,800	△ 11,200	警備(セコム)、清掃2名
5 賃金	300,000	313,500	13,500	除雪、除草、冬囲・撤去、事務局、留守番ほか
6 旅費	90,000	70,250	△ 19,750	通勤費、事務局旅費
7 渉外費	150,000	86,960	△ 63,040	各種会費、行事お祝い、研修費、広告料ほか
8 需用費	270,000	240,622	△ 29,378	コピーカウンタ料、印刷用品、一般消耗品
9 光熱水費	360,000	346,984	△ 13,016	電気・ガス・水道・燃料費の4割(市:6割)
10 電話料	120,000	223,522	103,522	電話・プロバイダー料の4割(市:6割)
11 郵便料	20,000	4,340	△ 15,660	切手・はがき、送料
12 備品費	40,000	46,350	6,350	プリンター、パソコンディスプレイ
13 営繕費	30,000	0	△ 30,000	
14 原材料費	30,000	6,490	△ 23,510	縄、金網
15 負担金	20,000	20,000	0	市コミュニティ推進協議会負担金
16 会議費	50,000	37,614	△ 12,386	常任委員会ほか
17 費用弁償	590,000	760,000	170,000	室長・副室長・委嘱委員報酬、職員特別手当
18 賃借料	315,000	264,120	△ 50,880	コピー・輪転機リース、広場地代
19 雑費	120,000	116,888	△ 3,112	ダスキン、日用雑貨、ダスキン、新聞代ほか
2 事業費	1,590,000	1,981,987	391,987	
1 一般事業推進室	1,430,000	1,825,737	395,737	
① ふれあい推進室	520,000	505,846	△ 14,154	体育祭、民謡流し、コミ祭、フェスタ、清掃他
② 教育振興室	120,000	78,480	△ 41,520	生涯学習事業(太極拳)、親子ふれあい事業他
③ 山なみ編集室	220,000	168,130	△ 51,870	山なみ紙、カラー印刷、インクほか
④ 安全対策室	550,000	1,061,592	511,592	交流施設改築費、地域間交流バス代他
⑤ 雑費	20,000	11,689	△ 8,311	会議費ほか
2 住民起業室	160,000	156,250	△ 3,750	
① 暖暖	160,000	156,250	△ 3,750	「暖暖」家賃(3年目)・地代
② つらなす	0	0	0	
3 予備費	117,402	15,000	△ 102,402	香典
4 次期繰越金	0	95,422	95,422	
合計	9,408,402	9,824,933	416,531	

平成24年度への繰越額	95,422 円
-------------	----------

予算執行は適正にして計数は正確であり、相違ないものと認めました。

平成23年4月12日

会計監査員 荒川 満 彦

会計監査員 木村 健 治



## — 平成 24 年度 運営方針 —

## 1 運営方針

今年度も“絆”を共通のテーマに、学校・家庭・地域が連携した地域づくり、災害に負けない安全・安心の地域づくり、地区民総参加の地域づくりをコミュニティ活動やイベントを通して推進してまいります。

## (1) 地区民親睦体育祭（第 40 回記念事業）と地域間交流

記念すべき第 40 回の体育祭に藤沢市六会地区からの参加が決まりました。

## (2) 第 33 回コミュニティ祭り（市活動推進事業）

中学校では今年度、生徒たちの主体性や企画力、表現力を高め、地域に役に立つ喜びや意欲の育成を目的に総合学習としてコミュニティ祭りに取り組んでくれることになりました。

## (3) 交流施設「さらい」の整備（市活動推進事業）

前年度より取り組んでいる交流施設「さらい」の整備事業 2 年目。今年度は外構部分を主体に取り組んでまいります。昨年同様、廃品を利用し、ボランティアの協力を得ながら 9 月下旬の完成を目指します。

## (4) こども笑顔創造プロジェクト事業の支援（事業名：きたじょう「絆」プロジェクト）

この事業は「かしわざき子ども育成基金」を活用して行われる「かしわざき子ども大学」の事業で、地域の教育力の向上及び社会全体で取り組む子育て支援の推進に寄与することを目的としています。保育園・小学校・中学校・町内会・老人クラブとコミュニティで実行委員会を組織し、地域を挙げて取り組むことを決定いたしました。コミュニティも全室で支援してまいります。

## (5) 生涯学習事業：匂香塾（市活動推進事業）

田舎料理の達人を育成し、田舎体験メニューを整備してまいります。

## (6) 防災科学技術研究所との共同プロジェクト事業（北条中学校）

基本的には前年度の事業を継続し、今年度は中学校と防災科学技術研究所が直接、実証実験の研究協定を結ぶことになりました。先般、米山検校の事績のまとめた書籍「評伝 銀のつえ 米山検校を探して」が出版されました。著者は検校の遠い子孫にあたる埼玉県在住の徳間佳信さんと、先生には「ようこそ先輩」として北条にお出でいただき、子ども、保護者、地域住民を対象に講演会の開催が可能かどうか打診しております。

## 2 活動計画

## (1) 会議等実施予定

- ・ コミュニティ委員会（総会） 4/20（金）
- ・ 会計監査
- ・ 常任委員会 必要に応じ開催
- ・ 三役会議 必要に応じ開催
- ・ 体協・コミュニティ合同会議 4/24（火）
- ・ 一般事業推進室会議 必要に応じ開催

## (2) 一般事業推進室

## ① ふれあい推進室

- ア 第 40 回地区民親睦体育祭の開催 6 月 10 日（日）（地域間交流兼）
- イ ざおん柏崎祭り民謡流しへの参加 7 月 24 日（日）
- ウ 民謡流し踊り講習会の開催 2 回 7 月 9 日（月）・7 月 16 日（月）予定
- エ 第 33 回コミュニティ祭り（中学校の総合学習）10 月 14 日（日）
- オ センター一斉清掃 2 回 8 月 4 日（土）・12 月 15 日（土）

## ② 教育振興室

- ア 生涯学習事業（匂香塾）（地域コミュニティ活動推進事業）
- イ 家庭教育事業（親子ふれあい推進事業）（地域コミュニティ活動推進事業）

## ③ 山なみ編集室

- 広報紙と北条ネットを通して情報発信をする
- ア コミュニティ広報誌「山なみ」の発行（毎月編集会議・打ち込み・印刷・配布）
- イ 北条ネットによる「山なみ」ウェブ版の発行（随時更新）
- 北条中学校生徒会の北条ネットへの参加（コメントは必ず）

## ④ 安全対策室

- ア 交流施設「さらい」整備：外構工事（地域コミュニティ活動推進事業）
- イ 地域間交流：六会地区→北条地区へ（地域コミュニティ活動推進事業）
- 6 月 8・9・10 日（体験交流／笹団子づくり・ふれあい交流／体育祭）

## (3) こども笑顔創造プロジェクト事業：コミュニティ全室が支援

## (4) 住民起業室

- ① 「暖暖」：経営指導を受け、健全経営を目指します。（地代と家賃補助）
- ② 「つららなすの会」：栽培本数を 450 本（共同ほ場 350 本・会員 100 本）本数を増やすことよりも、品質の良いナスの生産に努める。

## 平成24年度 北条地区コミュニティ振興協議会予算書

## 1 歳 入

(単位:円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘 要
1 会費	3,628,800	3,675,600	△ 46,800	年会費3,600円×1,008戸(前年度より13戸減)
2 管理運営事業補助金	4,168,000	4,161,000	7,000	センター長報酬、主事給与、共済費
3 管理補助金	258,000	258,000	0	警備・清掃補助金(月21,500円×12月)
4 事業補助金	650,000	650,000	0	市コミ活動推進事業費
5 使用料	230,000	230,000	0	ソロバン教室、習字教室、総代会ほか会場使用料
6 雑収入	50,000	50,000	0	印刷収入、預金利子ほか
7 特別会計繰入金	100,000	300,000	△ 200,000	
8 前期繰越金	95,422	83,802	11,620	
合 計	9,180,222	9,408,402	△ 228,180	

## 2 歳 出

(単位:円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘 要
1 管理費	7,761,000	7,701,000	60,000	
1 報酬	1,024,000	1,024,000	0	センター長、会長、副会長
2 給与	3,252,000	3,252,000	0	主事2人
3 共済費	510,000	495,000	15,000	社会保険料、労働保険料、退職掛金、手数料ほか
4 委託料	425,000	425,000	0	警備委託料セコム、清掃委託料2人
5 賃金	300,000	300,000	0	除雪、除草、冬囲・撤去、事務局、事務局補助
6 旅費	95,000	90,000	5,000	主事交通費、事務局旅費ほか
7 渉外費	110,000	150,000	△ 40,000	各種会費、各種祝い、広告、研修費
8 需用費	250,000	270,000	△ 20,000	コピーカウンター料、印刷用品、一般消耗品
9 光熱水費	360,000	360,000	0	電気、ガス、水道、燃料費(実績の4割負担)
10 電話料	160,000	120,000	40,000	電話・光ファイバー・プロバイダー料、実績の4割負担
11 郵便料	15,000	20,000	△ 5,000	切手・ハガキ
12 備品費	0	40,000	△ 40,000	
13 営繕費	30,000	30,000	0	館内照明器具、光ファイバー工事費ほか
14 原材料費	30,000	30,000	0	冬囲い縄、杭ほか
15 負担金	20,000	20,000	0	市コミュニティ推進協議会負担金
16 会議費	50,000	50,000	0	総会、常任委員会、役員会
17 費用弁償	710,000	590,000	120,000	室長、副室長、委嘱委員、事務局特別手当、監査
18 賃借料	300,000	315,000	△ 15,000	リース(コピー・リソ)、地代、車両借上料
19 雑費	120,000	120,000	0	新聞代、ダスキン・お茶、清掃用品、日用雑貨ほか
2 事業費	1,300,000	1,590,000	△ 290,000	
1 一般推進事業室	1,140,000	1,430,000	△ 290,000	
① ふれあい推進室	520,000	520,000	0	体育祭、民謡流、コミュニティ祭り、館内清掃
② 教育振興室	100,000	120,000	△ 20,000	生涯学習講座(旬香塾)・家庭教育講座
③ 山なみ編集室	130,000	220,000	△ 90,000	紙、印刷用品
④ 安全対策室	360,000	550,000	△ 190,000	「さらい」整備事業・地域間交流費・火災保険
⑤ 雑費	30,000	20,000	10,000	会議費、消耗品ほか
2 特別事業部	160,000	160,000	0	
① 暖暖	160,000	160,000	0	暖暖ローン(4/10年目)、地代
② つららなす	0	0	0	
3 予備費	119,222	117,402	1,820	
4 次期繰越金	0	0	0	
合 計	9,180,222	9,408,402	△ 228,180	

平成24年度コミュニティ役員一覧

◎/室長 ○/副室長 常/常任委員 兼/兼任

役職・専門室		氏 名	所属等	役職・専門室		氏 名	所属等	
会 長	常	江 尻 東 磨	町 内 推 薦	山 な み 編 集 室	◎常	星 野 和 彦	コ ミ 委 嘱	
副 会 長	常	小 暮 臣 之	コ ミ 委 嘱		○常	村 山 秀 雄	コ ミ 委 嘱	
	常	神 林 浩 二	つららなすの会			五十嵐 禮治郎	老 人 ク ラ ブ	
会 計 監 査		木 村 賢	町 内 会 長			伊 部 秀 男	コ ミ 委 嘱	
		荒 川 満 彦	商 工 会 長			久 我 康 幸	町 内 推 薦	
事 務 局		真 貝 順 一	セ ン タ ー 長			木 村 三 代 子	コ ミ 委 嘱	
		戸 田 洋 子	主 事			池 田 き み 子	町 内 推 薦	
		森 山 富 美 子	主 事		安 全 対 策 室	◎常	吉 川 公 一	コ ミ 委 嘱
教 育 振 興 室	◎常	関 稔	町 内 推 薦			○常	伊 部 勝 彦	コ ミ 委 嘱
	○常	桐 沢 有 里	町 内 推 薦				佐 藤 勝	交 通 安 全 協 会
		三 宮 直 人	コ ミ 委 嘱			室 賀 則 顕	体 育 協 会	
		丸 山 智 子	コ ミ 委 嘱			木 村 永	コ ミ 委 嘱	
		馬 場 敦	コ ミ 委 嘱			入 沢 健 治	町 内 推 薦	
		池 田 敏 夫	民 生 委 員 会			石 川 進 一	町 内 推 薦	
		村 山 興 治	町 内 推 薦			山 上 孝	町 内 推 薦	
		鬼 山 吉 市	町 内 推 薦			真 貝 重 昭	町 内 推 薦	
		木 村 克 己	町 内 推 薦	住 民 起 業 室		常	神 林 浩 二	つららなすの会
		庭 山 充	北 小 P T A	一 般 事 業 推 進 室 を 兼 ね な い 委 員	常	長 谷 川 敏 雄	町 内 会 長	
	桑 原 隆 行	北 中 P T A	常		村 山 秀 雄	町 内 会 長		
ふ れ あ い 推 進 室	◎常	品 田 純 子	町 内 推 薦		常	堀 田 健 蔵	町 内 会 長	
	○常	丸 山 けい子	コ ミ 委 嘱		常	真 貝 順 一	町 内 会 長	
	○常	庭 山 宏	コ ミ 委 嘱		兼	江 尻 東 磨	町 内 会 長	
		寺 沢 育 子	コ ミ 委 嘱			中 山 政 憲	北 条 小 学 校	
		小 竹 きよい	サークル・団体			藤 林 壽 一	北 条 中 学 校	
		笠 原 博 光	町 内 推 薦			荒 川 満 彦	北 条 商 工 会	
		伊 平 直 樹	町 内 推 薦			高 橋 正 之	農 協	
		岡 島 徳 保	町 内 推 薦			新 沢 聡	北 条 郵 便 局	
		重 野 政 敏	町 内 推 薦		中 村 朝 子	広 田 郵 便 局		
		五十嵐 清 子	町 内 推 薦		村 山 隆 一	消 防 分 団		
	佐 藤 静 男	町 内 推 薦						
	小 黒 久 子	町 内 推 薦						

### 平成 24 年度 北条地区各種団体名簿一覧

町内会長			交通安全協会			交通安全協会 女性部		
町内会名	役 職	氏 名	町内会名	役 職	氏 名	町内会名	役 職	氏 名
南 条		原 義 正	中 村	地区長	佐 藤 勝	中 村	部 長	佐 藤 三 枝 子
十日市		木 村 賢	旧 広 田	副 地区長	小 林 益 栄	家 近	副 部 長	持 田 幸 江
鹿 島		小 暮 臣 之	南 条	〃	清 水 一 幸	深 沢	〃	横 田 里 美
赤 尾		伊 平 辰 栄	山 本	〃	真 貝 敏 夫	南 条	部 員	原 ュキ子
四日町		千 葉 重 範	大 広 田	会 計	栗 原 博 義	十日市	〃	木 村 理 恵 子
荒 町		村 山 秀 雄	十日市	会 計 監 査	木 村 正 延	鹿 島	〃	持 田 協 子
家 近		持 田 繁 義	大 広 田	〃	村 山 不 二 男	赤 尾	〃	寺 沢 由 紀 子
深 沢	副 会 長	堀 田 健 蔵	南 条	評 議 員	関 英 一	四日町	〃	渡 辺 千 賀 子
東 条		江 部 吉 一	鹿 島	〃	田 中 義 一	荒 町	〃	和 田 ノ ブ
小 島		石 川 昭 一	赤 尾	〃	大 橋 喜 美 夫	小 島	〃	石 川 宏 美
山 澗		五 十 嵐 修	四日町	〃	岡 島 徳 保	東 条	〃	久 我 恵 美
旧 広 田		佐 藤 八 郎	四日町	〃	福 島 孝 治	山 澗	〃	五 十 嵐 高 子
大 広 田		長 谷 川 敏 雄	荒 町	〃	近 藤 進	大 広 田	〃	村 山 正 子
山 本	事 務 局	真 貝 順 一	家 近	〃	加 藤 善 一	旧 広 田	〃	桑 原 登 美 子
中 村		瀬 下 好 一	深 沢	〃	持 田 保 栄	山 本	〃	五 十 嵐 美 智 子
鼻 岳		宮 山 今 朝 雄	小 島	〃	川 口 雅 千	鼻 岳	〃	伊 部 正 子
岩 之 入	会 長	池 田 俊 明	東 条	〃	小 林 賢 一	岩 之 入	〃	真 辺 小 夜 子
大 角 間		小 林 紀 一 郎	山 澗	〃	荒 川 子 一 郎	大 角 間	〃	間 島 美 幸
峠		室 賀 則 顕	鼻 岳	〃	伊 部 洋 文	峠 黒 川	〃	江 尻 美 紀 子
吉 井 黒 川		江 尻 東 磨	岩 之 入	〃	池 田 和 利	杉 平	〃	近 藤 佳 枝
杉 平		鬼 山 順 一	大 角 間	〃	間 島 久 夫			
			峠 黒 川	〃	室 賀 則 顕			
			杉 平	〃	真 貝 真 一			
			四日町	顧 問	加 藤 清 蔵			

食生活改善推進員	
町内会名	氏 名
南 条	星 野 栄 子
南 条	関 敏 子
南 条	本 間 洋 子
南 条	相 村 恒 子
四日町	真 貝 綾 子
家 近	入 沢 良 一
東 条	吉 田 ミ ヨ
小 島	江 部 静 子
山 澗	荒 川 信 子
旧 広 田	田 村 和 子
旧 広 田	小 黒 久 子
大 広 田	神 林 昭 子
岩 之 入	中 川 ナ ツ 子
今 熊	笠 原 テ ル エ

北条老人クラブ連合会		
クラブ名	役 職	会 長 氏 名
南 条 壮 寿 会		清 水 泰 子
本 条 鹿 島 長 命 会	会 長	五 十 嵐 禮 治 郎
北 条 寿 会		堀 智 昭
小 島 む つ み 会		若 月 勲
旧 広 田 友 和 会	副 会 長	村 山 勝 治
大 広 田 寿 ク ラ ブ		神 林 一 幸
山 澗 老 人 ク ラ ブ		五 十 嵐 久 一 郎
岩 之 入 老 人 親 睦 会	副 会 長	池 田 俊 明



# 診療所からのお知らせ

中野先生には大変「無理をお願いして、これまで、月・火曜日の二日間、診療をお願いしてまいりました。特に、今冬の豪雪の中での通勤は大変だったと思います。(感謝)

四月五日の総代会において国保医療課より、北条診療所に新潟病院から樋口先生が来られ、水・金曜日の診療を担当して下さる旨の発表がありました。そして、中野先生も引き続き、月・火曜日の診療と往診をして下さるお話を聞き、総代一同、安堵の気持ちで一杯になりました。

中野先生からのメッセージです。「樋口先生は若くて、優しくて素晴らしい先生です。ぜひ水・金曜日でもご利用ください」とお話をされていました。

## 診療日が4日間になりました

### 【診察日】

月・火・水・金曜日  
(ただし、祝日は除く)

※臨時休診日 5月25日(金)

### 【診療時間】

月・火曜日 9:00~12:00

水・金曜日 9:30~12:00

### 【診療体制】

月・火曜日 中野 研一医師

水・金曜日 樋口 真也医師

### 【ご注意】

- ・往診は、月・火曜日のみです。
- ・夜間診療、在宅による看取り治療は、これまでに引き続きお受けできません。

診療所 ☎25-3215



## 八石山山開き

八石の自然を守り親しむ会

昨年より残雪も多いように感じておりますが、恒例の八石山山開きを**5月27日(日)**に行います。

柏崎の名山の一つである当山の山開きに、地域の多数の皆さまからご参加いただきますことを心よりお待ちしております。

◆会場：下南条林道入り口（追田）  
少雨決行（悪天候の場合は中止）

◆日程 8:30 受付（事務局前）  
参加料200円  
8:50 安全祈願祭・開会式  
9:30 登山開始  
11:30 頂上記念撮影・豚汁サービス  
13:00 ふるさと広場開店  
15:00 ふるさと広場閉店

◆お問い合わせ先  
会長宅：25-3460 事務局：25-3961

## 金倉道入り口・通行止めのお知らせ

旧広田の金倉農道入り口で土砂崩れが発生しました。

これから復旧作業が始まりますので、初秋頃まで通行止めになると思われます。十分ご注意ください。

(旧広田町内会長)

## 地区民親睦体育祭：6月10日(日)

今年の第40回体育祭に藤沢市六会地区の皆さまの参加が決定しました。

詳細は5月20日配布のプログラムで。

## … 明暗帳 …

地域の皆さまの要望により、今月号から地域版の明暗帳(お悔やみ・うぶごえ)が復活します。

【お悔やみ】2月25日~4月24日

小林 正治 (80歳) 東 条  
佐藤 スイ (84歳) 中 村  
伊平 クメ (97歳) 赤 尾  
高野ミヨキ (81歳) 吉井黒川  
木村 美代 (91歳) 十日市  
片岡 茂樹 (70歳) 四日町  
村山 幸三 (84歳) 大広田  
石川 一二 (90歳) 四日町  
田村 シヨ (90歳) 大広田

## — 5月の行事予定 —



総代会 7日(月) 13:30  
チーム代表者会議 10日(木) 19:00 (体育祭)  
民生委員会 11日(金) 9:30  
生花教室 10日(木) 14:00~15:30  
かすりの会 29日(火) 9:00~15:30  
社交ダンス 14・28日(月) 20:00~21:00  
茶道教室 10・24日(木) 13:00~16:30  
北条お達者クラブ 8・22日(火) 10:30~11:30  
旧広田ソフトバレー 毎週火曜日 19:30~21:30  
習字教室 毎週水曜日 16:00~21:00  
卓球クラブ 毎週水曜日 19:30~21:30  
三味線教室 毎週木曜日 9:30~11:30  
越後よさこい凧北条 毎週木曜日 19:30~21:00  
カサブランカ合唱団 毎週金曜日 19:30~21:30